令和８年度

「モラル・エッセイ」コンテスト受賞者一覧



福島県教育委員会

［審査結果］

この度は、「モラル・エッセイ」コンテストに多数の御応募をいただき、誠にありがとうございました。
一次・二次審査を経て、下記のように受賞者が決まりました。
９名の皆様、受賞おめでとうございました。

中学生の部　最優秀賞１名

品格を選ぶ	福島大学附属中学校	３年	丸　山　寛　乃さん

優秀賞　３名

目の前を見ること	郡山市立郡山第三中学校	３年	大　竹　　凪さん
私の生き方	西郷村立西郷第一中学校	１年	穂　積　聖　桜さん
私の心を動かした一言	いわき市立川部中学校	１年	八重樫あずささん

高校生の部　最優秀賞１名

お客様が満足できるように	福島県立いわき総合高等学校（好間校舎）	３年	緑　川　永　真さん

優秀賞　１名

人生には必ず壁がやってくる。	福島県立聴覚支援学校	２年	遠　藤　脩　馬さん

一般の部　最優秀賞１名

葉っぱ流しの夕方	いわき市在住		鵜　沼　智　子さん

優秀賞　２名

未来を手渡す人たち	福島市在住		小　林　倫　之さん
手書きの文字が教えてくれたこと	西郷村在住		若　松　　優さん

［応募総数］

	中学校	高等学校	一般	計
応募総数	１，０６９	１４	８３	１，１６６

〈審査委員〉
一次審査　義務教育課指導主事
　　高校教育課指導主事
二次審査　上越教育大学学長　林　泰成　氏
　　日本大学工学部教授　渡邉　真魚　氏
　　福島県教育庁教育総務課長　大林　徹也
　　福島県教育庁高校教育課長　中村　充幸
　　福島県教育庁参事兼義務教育課長　佐藤　敏宏

［講　　評］

○　応募作品の一つ一つから、作者の素直な言葉とみずみずしい感性が伝わってきました。不安や緊張に直面した時、あるいは人生の踏ん張りどころに立った時、ふと日常や「当たり前」と感じていることを改めて振り返り、自分を支える人々の存在やそのありがたさに思いをめぐらせ、何を考えたのかが鮮やかに描かれています。また、手紙やＳＮＳ等で交わした言葉、身近な出来事をきっかけに、当時の記憶をたぐり寄せ、自分に影響を与えてくれた人への感謝の念を抱いたり自分自身の成長を感じたりする作品が数多くありました。どの作品も明日への一歩を踏み出す勇気を与えてくれるものばかりです。ぜひ多くの方にお読みいただき、心温まる時間を感じていただければ幸いです。